

「^{かく}角^{れき}礫行進歌」

宮沢賢治

氷霧^{ひょうむ}はそらに鎖^とし
落葉松^{らくえつそう}も黒くすがれ
稜礫^{りょうれき}の あれつちを
やぶりてわれらはきたりぬ

かけすの歌も途絶^{とだ}え
腐植質^{ふしつしつ}はかたく凍^こゆ
角礫^{かくれき}のかどごとに
はがねは火花をあげ来し

(天のひかりは降りも来ず
天のひかりは注ぎ 来ず
天のひかりは射しも来ず)